



医療

株式会社
兵庫県臨床検査研究所様

事業内容 臨床検査、病院内環境検査、食品検査、水質検査、システム開発

導入目的 電子カルテ連携ラベル発行システム「HBiz-Link」から、検体容器に貼付するバーコードラベルを出力する。

導入概要 2012年5月より、感熱ラベルプリンターを約100台導入、病院・クリニックへ設置。

「信頼される先生の検査室」をモットーに、検査精度・報告スピード・きめ細やかな対応を重視した検査を実現。兵庫県の検体集荷のルート便は50ルートを超え、地域密着型の臨床検査センターとして地域医療の発展に貢献しています。

- 設立 / 1979年4月(1977年9月創業)
- 本社所在地 / 兵庫県姫路市青山西5-6-2
- 資本金 / 2600万円
- 従業員数 / 260名(パート含む)

導入コストを抑えたラベルプリンターで、
検体のバーコード管理が可能に。
検査業務の大幅な効率化を実現しました。



株式会社 兵庫県臨床検査研究所 | 常務取締役 | 岩本泰秀 様

当社は、病院・クリニック様からお預かりした検体を速やかに本社ラボへ集約し、迅速に結果を報告する体制を構築しています。ラベルプリンターを導入する以前は、医療機関様が検査依頼書や検体容器ラベルを手書きしており、手間がかかる上に記入ミスも発生していました。ラベルプリンターの導入で、検体容器に貼付するバーコードラベルが簡単に出力可能となり、検査業務の大幅な効率化と信頼性向上を実現しました。導入コストを抑えられることと、トラブルの少なさにも驚いています。



導入しやすい価格と
トラブルの少なさ

ラベルプリンターの導入を検討した際、ブラザー製品は他社と比較して導入・運用コスト共に安価でした。また、採血の採りモレや検体容器の取り間違いを無くすことができ、クリニック様での検査業務を大幅に効率化できたQL-820NWBには驚きました。加えて製品本体の品質も、他社製品では一部のパーツが劣化する経験もりましたが、ブラザー製品は導入以来トラブルが発生していません。ラベル交換も容易で、品質の良いブラザーの感熱ラベルプリンターは多くの導入医療機関様で大変喜ばれています。



ラベルのカートリッジ交換も簡単

優れた印字品質と
システムとの親和性の高さ

当社の検査業務は、高精度自動分注装置・自動分析搬送ライン・自動分析装置等により完全システム化されており、検体容器に貼付されたバーコードラベル情報を元に検査が行われています。バーコードラベルの印字品質も高く、ラボでの読み取りエラーもなく助かっています。また、電子カルテ連携ラベル発行システム「HBiz-Link」のシステム開発時も、SDK(ソフトウェア開発キット)が無償提供されており、ラベル発行プログラムの開発工数を削減できました。



HBiz-Linkを設定したPCと、QL-820NWB

ユーザー様の声

採血検査のモレやミスがなくなり
ほんとうに助かっています。

たまきこどもクリニック院長
玉置依子 様

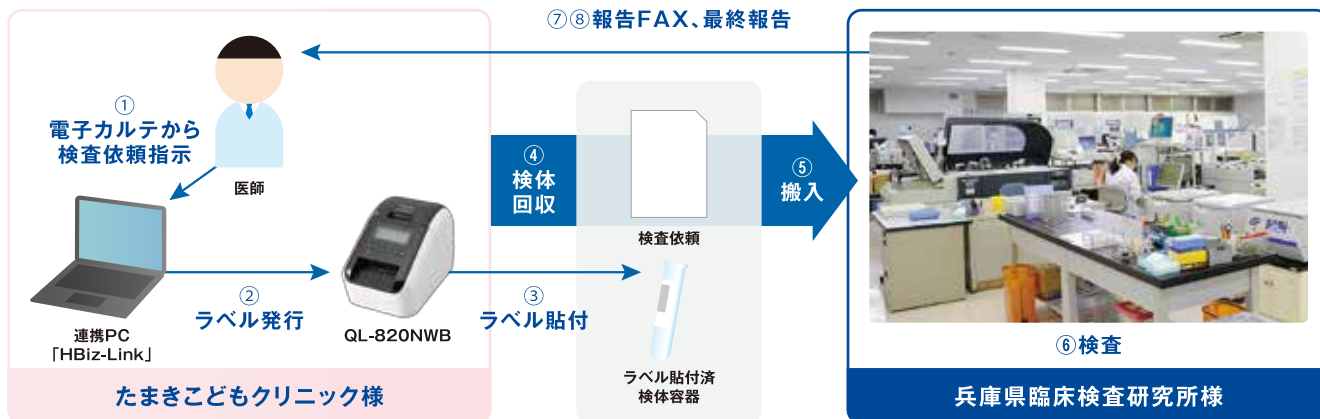


2017年11月1日に開院しましたが、その準備はとて大変でした。院内の設計は自分のこだわりを実現するために寝る間も惜しんで取り組みました。臨床検査については、兵庫県臨床検査研究所の集配員のきめ細かい対応で、迅速に結果が報告されるので助かっています。検査依頼書や検体容器ラベルを手書きせず、ブラザーのラベルプリンターでミスなく採血業務が効率よくできるため、とても感謝しています。

だから私は

ブラザーを使っています！

ラベルプリンターから出力する検体容器用バーコードラベルにより、 クリニックの検査業務プロセスが大幅に効率化されました。



① 医師による出力指示

医師が必要とする検査項目を電子カルテシステムのPCで指定し、「検査依頼書」と「検体容器貼付用バーコードラベル」の出力指示を出します。



② QL-820NWBからバーコードラベルを出力

医師からの指示情報はクリニック内検査室のノートPCに送られます。検査に必要な情報がすべて電子カルテシステムから同社のHBiz-Linkを介してプリンターへ送信され、検体容器貼付用のバーコードラベルをQL-820NWBから出力します。



③ 検体容器にバーコードラベルを貼付

ラベルにはバーコードの他に、患者様氏名・カルテNo.・検体No.・至急マーク・容器本数・医院名称・透析前後などが印字されます。特に検体を保管する容器をアルファベット(A・B・Fなど)で印字するため、検体容器をスタッフが調べる手間や容器間違いがなくなり、業務が大幅に効率化されました。



④ 同社スタッフによる検体回収

各医療機関へは定期的に集配員が訪問。受託した依頼項目と検体の確認を行い、保存温度別ボックスで温度・振動・遮光に配慮し当日搬送を行います。



⑤ 回収した検体を検査室へ搬入

⑥ 各種自動検査ラインによる検査実施

同社の検査室では、生化学的検査・血清学的検査・血液学的検査など、様々な検査が行なわれます。これらは、バーコードに対応した高精度自動分注装置と自動分析搬送ラインにより、すべて自動化。検査項目に対応した最新鋭の検査機器の導入で、大量検体処理と多項目処理を実現しています。



⑦ 検査結果を医療機関へ報告

同社検査部の各担当者がシステム上で結果承認を行うと、緊急の検査結果や特別異常値などのデータは自動的に出力され、必要に応じて各医療機関へFAXや伝送等、指定の方法にて送信されます。すべての結果が記載された最終報告書は各拠点の事業所にて出力され、翌日には各医療機関へ届けられます。



⑧ 妊婦検査報告書への活用

産婦人科では、検査結果を母子手帳に手書きで転記されてきました。同社ではラベル形式の「妊婦検査報告書」としてQL-820NWBから出力するサービスもなっています。出力された報告書は母子手帳に貼付することができ、画期的なサービスとなりました。



施設の規模に合わせてプリンターを使い分け

HBiz-Linkと連携し、検体容器貼付用のバーコードラベルを簡単に出力できるブラザーの感熱ラベルプリンター。クリニック様向けには、本体価格の安価な「QLシリーズ」をシステムと併せて提案しています。またバーコードラベルの出力枚数が多い病院様にはラベルコストがより安価な「TD-2130N」をお勧めしています。なお、QL-820NWBとTD-2130Nは、複数のPCをネットワーク接続した共有プリンターとしてご利用いただけます。



おすすめ機種

感熱ラベルプリンター「QL-820NWB」

- 基本機能/ラベル最大62mmに対応
 - インターフェイス/USB、有線LAN、無線LAN、Bluetooth
 - 電源/AC100V 50/60Hz 1.5A ● 消費電力/約90W
- ※詳細は、ブラザー製品ページにてご確認ください。



感熱ラベルプリンター「QL-800」

- 基本機能/ラベル最大62mmに対応
 - インターフェイス/USB
 - 電源/AC100V 50/60Hz 2.0A ● 消費電力/約116W
- ※詳細は、ブラザー製品ページにてご確認ください。

